

ものづくり 狭山人づくり の産業



皆さん狭山産の野菜を召し上がってください

霜 が降りるこの時期のほうれん草は、「寒さに耐えるため、甘みが増し、一番おいしいんです」と話す室岡さん。25年前に、ほうれん草の生産を本格的に始めました。「最初のころは、夏場に葉がしおれ、どのくらいの水をあげたらいいのかわからなくて困ったり、本当に試行錯誤の連続でした」と当時を振り返ります。新鮮で美味しい野菜を食べてもらうために、土作りにこだわり、収穫の翌日には出荷するようにしています。また、種まきから出荷まで農薬や肥料などの使用状況を管理する生産履歴書を作成することで、食の安全を提供します。

最近では、スーパーなどが年末年始も営業し、出荷の要望に応じて、大晦日まで働く農家も珍しくありません。需要と供給のバランスの中で、コスト意識を持ち計画的に生産をしていくことも必要なことだと、これからの野菜農家の経営を見据えていました。

(室岡清さん・堀兼・ほうれん草栽培農家)

Hello ハロー 仲間たち

Vol. 270

い る ど ー る
絵画同好会・伊呂土留



入間川の北側に位置する、水富地区で一番大きなつつじ野自治会は、1千4世帯の集合住宅です。多くの緑に囲まれた環境と住宅管理組合がハード面をきちんと管理し、こまごまの処理、清掃も行き届いていることが自慢です。



チャリティー餅つきの売り上げ金を寄付しました

「安心して住めるつつじ野」を第一の願いとして、毎年2回の自主防災訓練や住民みんなが顔見知りになるような行事をできるだけ多く行っています。会の運営には、役員、全会員が一丸となってしっかりとした人間関係が築けるように考え、何でも行政に頼ることのないよう、できることは自分たちで行っていきたくらいと願いつつ活動しています。

つつじ野自治会

つつじ野自治会

私たちの会は、柏原公民館で開催された初心者絵画教室の参加メンバーが中心になって、昭和61年に発足しました。一つの手法にとらわれず水彩、油彩、彫塑、版画など、いろいろな作品に挑戦するのが特徴です。今は銅版画に取り組んでいます。作品を版から剥がすときが緊張の瞬間で、思いどおりにできたときの嬉しさは格別です。それぞれの技法の楽しさを感じながら、年間で9点程度の作品を完成させます。一つの作品を一生懸命完成させたときの喜び、わが子のような作品を家に飾る楽しさも絵画の魅力です。

また、昨年の春から13名の会員が2名ずつ交替で、軽費老人ホーム柏苑の食堂に作品を飾っています。発表する場があることは、会員の励みにもなりますし、毎月変わる絵を楽しみにしていると入居者にも好評です。

これからも、自由な雰囲気の中で作品づくりに取り組み、楽しみながら活動を続けていきたいと思っています。

●問合せ

金澤富士枝さんへ

☎2952 1150